

-- 家族連携 Research --

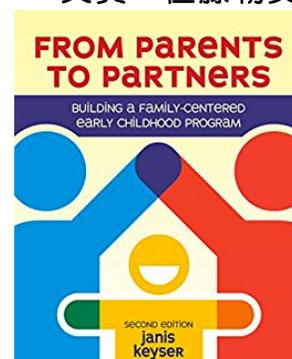
18.01.25-

文責：佐藤朝美



From Parents to Partners: Building a Family-Centered Early Childhood Program 2nd Edition, Kindle Edition

by Janis Keyser Publisher: Redleaf Press; 2 edition (May 15, 2017)



1 章：HOW CAN TECHNOLOGY SUPPORT FAMILY-CENTERED CARE?

家族と教師とのパートナーシップの重要性



- 「関係性が全てである！」研修に参加している教師のグループから聞こえてくるかもしれない。このスローガンは幼児期の職業の根幹である。幼児教育者は、子どもとの関係を築くことが不可欠であると理解している。
- 乳幼児との関係における信頼と愛着を育む方法を学ぶ。幼児期は、子どもの自立を促し、絆を構築する。子どもは、大人との信頼関係を構築することによって、認知発達と識字、社会的、感情的発達、言語と身体発達が生じる。
- 人の最初の感情的なマイルストーンは、介護者（親）への信頼と愛着であり（Erikson 1963）、エリクソン（Erik Erikson）やヴィゴツキー（Lev Vygotsky）は、子供たちの発達思考スキルに社会的交流が重要といっている（Kearsley and Culatta 2016）。
- あまり明らかになっていないことだが、介護者（親）以外の関係も重要である。子供の感情的な安全と幸せ感、取り巻く大人の関係によって深く影響される。子どもたちはまた、関係について注意深く観察している。コミュニケーション、ケアの表現、問題の解決、一緒に働く方法を観察しながら学ぶ。観察は、家族だけでなく、子供の生活の中で重要なすべての大人が含まれている。教師と子供の家族の関係は、幼い子供の生活に大きな影響を与える可能性がある。
- 理論家Bronfenbrenner**は、人間生態学モデルにおいて、人は自分自身ですべてを開発するのではなく、家族や学校、教育プログラム、教会、モスク寺院のようなすべての異なるシステムによって影響されると主張する（Bronfenbrenner 1990）。この理由から、Bronfenbrennerは、家庭と学校との相互作用が子供の発達において非常に重要であると考えている。「**情報交換、双方向コミュニケーション、相互調整、相互信頼の継続的パターン**」を含む家庭と学校との間の橋渡しを主張する（Bronfenbrenner 1990,36）。
- レッチョ・エミリア**の教育者はまた、この関係システムの重要性を強調し、次のように述べている。「学校は両親の福祉を維持しなければならない。関係システムは非常に高度に統合されており、3人の主人公のそれぞれの福利は、他人の幸福に依存する。権利、ニーズ、快樂の相互認識、永続的な関係のシステムを作り出す社会行事の量と質への注意を払うべきである。そのため、家族の完全参加は不可欠な部分で、家族が学校から分離できない教育単位であると考えている」（Edwards, Gandini, and Forman 1998, 118）。
- 幼児期の介護者と教育者とその家族の関係において、子どもたちは何を体験しているか？
- ほとんどの人は、両親や他の家族と一緒に笑ったり、愛したり、議論する時の気持ちを覚えている。例えば、教師アンジェリカは、すべての子供たちがベッドにいた後、両親と一緒に歌った時を思い出す。「私は彼らの歌を聞いてそこに横たわっていて、最も暖かく、最も安全な気分だった」別のクリス教授は、母と祖母の主張を思い出す。「いくつかの短くて鋭い言葉があり、空気が凍りつくだろう。あなたは怒りを感じたが、それに対する言葉はなかった。私は子供のように怖がっていたが、私の最も重要な人々がそれについて話していなかったので、何を言いたいのか、誰に向けるのか分からなかった」この思い出を読んだとき、重要な家族は、関係する子供たちに影響を与え、彼らが安全で快適に感じるのを助けたり、恐れたり混乱させたりした。

あなたはこれらの子供たちが愛や怒りを表現する方法について何を学んだと思うか？
彼おそらく、愛情や物事を一緒に表現したり、怒りを非言語的に表現してはならないことを学んだ。

- 別の例：
一人親 Tamara は、父と幼稚園教師との出会いを覚えている。
「父は幼稚園初日に一緒に行き、担任に私たちを紹介した。先生は父に微笑んで、「こんにちは、ミスターメンドーサさん」と言った。私は「ミスター」と聞いたことが無かった。私はすぐに教師を好きになった。」
なぜ関係する意図との相互作用が子供にとって強力なのか？
子供は大人の間の敬意を払う関係について何を学んだか？
彼女は学校で誰が歓迎され、何を学んだか？
先生と彼女の家族のこの関係が、彼女の学習にどのような影響を与えたか？
この例は、教師と両親の関係が子供の生活や成功にどれほど重要なことを示しており、Bronfenbrennerのポイントを示している。家庭と学校の間を強くするために、幼児期の分野でどこにいるか？



THE TEACHER' S PERSPECTIVE

教師の視点



- 家族との強い関係を築き上げている教師も少数いるが、多くの人が苦労している。
- 子供たちへのケアは自信があるが、大人に対しては難しい。家族との関係を築くよう動機はあるが、どこから始めるべきか難しい。多くの人が行き詰まっている。
- 教師の声を聞くと・・・
 - 私はいつも子供たちと仕事をしたいと思っていた。大人は私にとってハードである
 - 私は子供たちと働くことが大好きだ。大人よりもはるかに自然だ
 - プログラムでは、家族のそれぞれと意味のある関係を持つことが大切にしたいが、どこに時間があるのだろうか？
 - 子供と一緒に働くことができれば、親を無視して、私は完璧な仕事をするだろう
 - 親がよくなると知っているが、子供の世話をしているときにしばしば邪魔になる
 - 子供と一緒にいるとき、私がやっていることを知っている。両親と対応する時、私は舌に縛られているように感じる
 - 両親が教室でぶらぶらされるのは難しい。私は教えることができるようにしておきたい
 - 両親は私を無視するか、自分の子供と一緒にやっていることを批判するように思える
 - ようやく子供のベッドに親の名前を掲示することにしたので、名前でお迎えすることができる
 - 仕事のすべてが好きだが、保護者会は怖い
 - 子どもが大変だった時のことについて両親に話すのは難しい。彼らを悪い気分にはさせたくない
- これらの意見は、多くの教育者が、保護者とはなく、子供の関心と愛情に基づいて教育に魅力を感じていることを表している。子供との関係を構築することは、大人との関係を構築することとは異なる。多くの優秀な教育者は、親との最も簡単な日常的なコミュニケーションでさえも苦労しており、ほとんどの人は、子供の世話や教育について異なる意見、誤解、誤解を両親と交渉することをチャレンジだと考えている。

Reflecting on Your Feelings about Working with Families

家族との仕事についての気持ちを振り返る

これらの質問を使用して、家族との仕事についてのあなたの気持ちを探り、同僚や他の学生とあなたの考えを話し合う

- 家族と一緒に働くことに対するあなたの気持ちは？
- あなたはそれについて何を楽しんでいますが、そして何が難しいですか？
- 家族と一緒に働くことであなたの強みは何と考えていますか？
- 家族と一緒に働くことでより快適になり、より効果的になることを学ぶために希望するものは何ですか？



THE PARENT' S PERSPECTIVE

両親の視点



- 教師と同様に、家族は子供の教師との関係についてさまざまな感情を持っている。教師との現在の関係に不安を感じている家族もいれば、関係性を持っていないと考えている家族もいる。教師との関係を持ちたいと思っている人もいるが、

その方法は不明である。どのように関与したいか明確な考えを持っている家族もいるが、コミュニケーションの難しさを認識している。教師とのやりとりで不満を感じている人もいる。

- 両親の語りの例：
 - 教師に多くの質問をしているが、子供たちに忙しいようで、中断させている気がする
 - 子供について話すことができる教師は 1 人いるが、何の情報も得ていない
 - 子供のニーズや健康、家族での出来事について教師に伝えたい情報があり、話することができる
 - プログラムで子供と一緒に過ごすのは好きである。先生を見て、私の子供があそんでいることを観察し、友達が誰であるのかについて学ぶことができる。教師が子供のためだけにいたいと考えているのはどうかと思う。
 - 先生が私の息子に使っているニックネームは好きではないが、それを言ったら子供がいないがしろにされると心配している
 - 教師に、子供が一日中何をしているのか聞くと、「特に」と言い、何らかの情報を聞いたことはない
 - 教室で私の子供が動きまわっているのを見ると恥ずかしく感じる。先生は言いたいことを知っているようだが、私は口に出して言うのを恐れている
 - 子供たちと特別な活動をしたいが、学校がどのように感じているかわからない。
 - 学校のこと、方針や子供たちに教えていることをもっと知りたいが、誰に尋ねるのかわからない
 - 朝、子供をトイレに連れて行く必要があると伝えしたが、午後の話はできなかったので、私の子供は午後には事故を起こした。私は本当に欲求不満だった。



架け橋：本当にそれを必要としているのか？



- Sara Lawrence-Lightfoot は、「家族と学校の境界線より複雑で柔らかな地理はない」と述べている（2004、xi）。
- 教育者が親との良好な関係を持つことは本当に必要か？教師が家族パートナーシップの柔らかな地理を踏まないことにしたらどうなるか？彼らは子供たちに自分たちのエネルギーを集中させるだけで、両親が自宅で何が起るか心配することはできないか？
- 実際、多くの良い教師が何年もそれをやってきた方法である。しかし先の例で見えてきたように、境界線を越えずに教師と家族の間の本質的なつながりを築けなければ、子供、両親、教師はすべて苦しむ。子供たちはケアと教育の一貫性と、生活の 2 つの場が協力して得られる利益の機会を逃す。家族は尊重されず、子供の教育における重要な役割を支持しない。両親はまた、子どもの教師と提携して学ぶ機会を逃す。家族と相互に敬意を払う関係を築いていない教師は、子どもの世話をするための重要な機会を失う。不足している知識とリソースは、仕事をより困難にし、報酬を半減する。
- 教師は、親の存在を上手く認めることで、教育的で参加型の経験を構築することができる（Edwards, Gandini, and Forman 2011）。家族と教師のパートナーシップは、努力する価値があり、メリットを作り出す。



FROM RELATIONSHIP TO PARTNERSHIP

関係からパートナーシップへ



- パートナーシップはユニークな関係である。彼らは現在、教師と両親の間に存在するいくつかの関係とは異なる。
- パートナーシップは、同等の関係である。パートナーシップの各人は、関係に対する知識と貢献のために同等に評価される。両方のパートナーが全く同じことをもたらすことを意味するものではない。それは、それぞれがユニークな貢献のために尊重されることを意味する。
- **リリアン・カッツ (Lilian Katz)** (1995) は、両親と教師の役割を明確に区別し、子どもの成長、学習、発達に相補的だが異なる貢献をすることを理想的に述べている。パートナーシップでは、相手方の視点を理解し、双方向コミュニケーションを行い、重要な決定について相談し、意見の相違を尊重して作業することである。パートナーシップ関係の人々は、相違を通じた作業を通して、関係の信頼を高め、新しい発見の可能性を広げる。共通のビジョンと目標に向けて働く経験によって豊かになっている。
- ほとんどの教育者は、ある方法や別の方法で家族と提携している。
- 連続体の一端には、「誰がピニャータを持って来るか、電話をかけるか、昼寝シートを洗うか、スライドを修理することができますか？」といった家族の簡単な要請が含まれる。プログラムスタッフがほとんどの決定を行い、両親は特定の作業を実行できるかどうかを選択する責任がある。
- 連続体のもう一方では、家族はプログラムを作成して設計し、教師を雇用し、プログラムに影響を与えるすべての決定（大小）について相談する。連続体に沿ったこれらのポイントの間には、家族と教師がイニシアチブを使用し、リソースを共有し、アイデアを議論し、お互いに協力するための多くの方法がある。

- 家族や教師が本当にチームを組むと、子供、両親、教師、プログラムなど、誰もが利益を得ることができる。
- パートナーシップは、教師や家族に味方、傾聴、談話の場、重要な仕事に対する謝辞、そしてより良い仕事をするための情報を提供する。この種のパートナーシップが子供たちに利益をもたらすが、親や教師にどのように役立つかはあまり明らかではない。最終的には、より大きなネットワークの基礎であるため、プログラムと大規模なコミュニティにも利益をもたらす。
- これらの利点の詳細については、こちらを参照。

Reflecting on What You Know about the Benefits of Family-Teacher Partnerships 家族と教師のパートナーシップの利点について振り返る

- 家族と教師のパートナーシップが、子供、両親、介護者にとって有益な方法を考えよう。
- グループごとに別のリストを作成する。
- 同僚や学生とリストを共有し、比較する。
- これらのリストに含まれていないアイデアを考え出したか？
- 議論する。



How Do Children Benefit?

子供の利益はどのようなものか？



- 子どもは先生と親の関係から何を学びますか？彼らの教師と親の関係が支持的で、敬意を表し、養育し、コミュニケーションしている場合、子供は何を学びますか？家庭と学校とのパートナーシップの子どもたちにとってのメリットは、この章の冒頭で議論した2つの主要なカテゴリーに分類されます。
 - 子供の感情的な環境は学習に役立ちます。
 - 子供の社会開発は健康的な関係をモデルにしています。子供たちは自分自身について学び、周囲の関係から自分の行動の手がかりを取ります。幼い子供たちは、自己中心的な視点から彼らの周りの関係を体験します。彼らは彼らが見て、聞いているすべてが彼らに関するものだと考えます。彼らは、世界が彼らの家族について何を考えているのか、世界がそれらについて何を考えているのかを区別しない。彼らは当然、自分自身を親や家族の延長線上に置いています。タマラの物語のように両親が尊敬されると、彼らは尊敬を集めます。両親が教師と対話しているのを見ていることは、教師が安全であると感じる人であるかどうかにかかわらず、子供たちに伝えます。親が先生に感じることでより快適になればなるほど、より多くの許可の子供は先生と信頼関係を築く必要があります。レジーナ・エミリアの教育者は、両親が学校に積極的に参加しているときに子どもたちが安心感を得ていることや、子どもたちも親の参加を彼ら自身の成長のモデルやインセンティブとして見ていることを思い起こさせる（Edwards, Gandini, and Forman 2011）。私たちがエリクソンから学んだように、この安全意識は、子どもの学習と開発が芽生える基礎です。

幼児の最も重要な発達課題の1つは、他の人々との社会的関係を構築することです。子供たちはお互いの関係で大人を見て、社会的、コミュニケーション、そして問題解決のスキルをモデル化しています。これは、他の人と一緒にいる方法、彼ら自身の年齢と他の大人の両方を知る方法です。彼らの周りの大人を見て、子供たちは自分の関係で何を期待するかを見ます。成人の関係を見て、子供は効果的または非効果的なコミュニケーションスキルを学ぶことができます。彼らは、意見の相違が話され、解決され、不成功に終わったと論じられたり無視されたりすることを学ぶことができます。彼らは他人との関係のように見えるものの尊敬や尊敬のニュアンスを知ることができます。

子供たちは、話し言葉だけでなく、身体言語、声調、および関係する成人の表情から、それらの周りの大人関係のあらゆる側面から学びます。彼らは言葉のように会話の音色に注意を払う。彼らは話しているときにどれだけ離れている人が立っているかを見ている。彼らは、会話中に人の顔がどのように見えるかを気付きます。彼らはそれを説明する言葉を持っていないかもしれませんが、彼らは周りの重要な関係のすべてにどれだけ尊敬と感謝が存在するかを正確に知っています。教師が子供の家族と敬意を表する親切な関係を築くとき、子供は気づき、恩恵を受ける。



How Do Families Benefit?

家族はどのように利益を得ますか？



- 教師や両親が効果的なパートナーシップに取り組む際は、家族も受益者である。情報、モデル、リソースと紹介、謝辞、サポート、聞き取り、共感、そして優しく頑強な瞬間を共有する人を得ることによって利益を得る。
- 強みを認められた家族は自信を持ち、より積極的なスキルを身につける。家族は、自分の子供たちを見る新しい方法を学び、教育/学習プロセスに従事する新しい方法を発見することによって利益を得る。

- レッジョ・エミリアの親は、次のように述べている。
「私たちは、仕事の間、幼児センターに子供を残し、新しい方法で子供の近くにいることを学んだ。子供に与えられた注意は、教師が間接的に私たちに指示しているというメッセージがある。教師は両親が子供を理解するのを促している」(Edwards, Gandini, and Forman 2011, 151)。
- 教育者が子どもと交流し、子どもを有能で自発的な学習者として記述する文書を見て、家族は子供たちに対する新しい視点を持つことができる。このパートナーシップを通じて、家族は安心感や自信を持って子供たちを世話することができるので、家族にとっても有益である。
- 保護者とのパートナーシップ、子どもとの交流、子どもの学習の討議、授業のドキュメンテーションを通して、両親は、子どもたちを見る新しい方法、児童育成、教授戦略に関する情報にアクセスすることができる。
 - 私は2歳の子供が犯罪者に成長することを心配していた。彼はいつも他の子供のおもちゃを奪っていた。時分ではなく他の子供が持っていたものを望んだ。しかし、彼の先生は、他の子供たちと一緒に遊んだりしていると私に説明し続けた。私たちは彼に反応するためのいくつかの有用な方法について議論し、試してみた。そして確かに、彼は今、色んな子と遊びたい。
- 子供たちの最初の先生として重要な、時には目に見えない仕事について、家族は認めることができる。
 - 私はいつも娘と話す。散歩や店やバスに行くとき、私たちは絶えず話している。見るものについて話し、質問をし、物語を伝える。先生は幼稚園の庭で会話しているのを見て、私は娘が素晴らしい語彙を学ぶのを助けていると教えてくれた。私は子供が学ぶのを支援していたことをとても誇りに思った。教師だけが学ばせていると考えていたので。
- 親には、挑戦していると感じるとき、響きのあるボード、サポート、リソースへの紹介がある??？
 - 4歳の娘がまだおむつを使っているので、絶望的だった。先生に助けを求め、私の懸念、戦略、および状況を聞いてもらった。それから彼はいくつかの記事とトイレに関する小児科医の情報をくれた。彼は気持ちよく聞いてくれたので、私は安心してリソースが使えた。親は子どものことを気にする教師と一緒に、子供の喜びや業績、闘争や悲しみを分かち合うことができる。子供が最初の一步を踏み出したとき、私はすぐに「先生に電話する必要がある」と考えた。最後に、子供の先生たちと信頼関係を築いている親は、自信を持って安心感を持ってケアをできる。彼がベタニーと一緒にいるとき、彼がよく世話してくれていると確信している。ベタニーは私のように彼について考えている!
- レッジョ・エミリアの教育者は、これらのパートナーシップが提供する家族のための支援について説明している。
- 両親は「介入し、妨害するが、不可欠かつ必要不可欠なものとは見なされず、家族の必要性は、施設としての職務とアイデンティティを尊重し支持するための文化的・政治的取り組みとなっている」(Edwards, Gandini, Forman 1998, 108)。
- 教師とのパートナーシップは、家族のユニークなリソースを提供し、ほとんどの家族が他の場所で見つけることのできないサポートを提供する。これらの不可欠で、容易に、そして定期的に利用できる関係は、子どものケアと教育の真のパートナーを提供することによって、両親が感じる孤立を解消するのに役立つ。



How Do Teachers Benefit?

教師はどのような利益を得るか?



- 子供と家族は、親と教師のパートナーシップの恩恵を受けていることが明らかである。これだけでも正しいことになるかもしれないが、教師がほぼ常に給料を過ぎて過度に増えている職業では、他の人に恩恵を与えるように思われるならば、新たな挑戦をするのは難しいだろう。
- 子供と家族だけが強い教師と家族の関係から恩恵を受ける唯一のものではない。
- 架け橋ができると、生活の質は大幅に向上する。先生としてのメリットのいくつかは次のとおりである。
- 親との対話に参加することで、教育者は子供、家族、教授学習プロセスについて新しい視点を得ることができる。
 - 両親がさまざまな視点を提供し、子どもの思考を豊かにし、深めることができることを発見した。オレゴン州のポートランドにあるオパールの学校教育者は、「親や教師と一緒に招待して、私たちの目標や子供の期待の共通の意義を創造することは可能でしょうか?」(2016年)

- 家族とのパートナーシップは、保護者が子供たちと一緒に教える重要な仕事について学び、認識し、感謝する機会を提供する。多くの場合、教師の仕事は、両親が子供と一緒に行うように、目に見えないものである。
 - 私はピックアップ時に、両親に子供の短い観察を伝え始めた。彼らはとても反応があった。突然、私は終日頑張ってくれたことに感謝しているように感じた。
- 両親が自分の子供や家族に関する知識を共有すると、教師は子供や家族をよりよく理解することができる。この理解は、それぞれの子どものニーズをよりよく満たすプログラムとカリキュラムを開発し、素晴らしい仕事満足感を与えるのに役立つ。
 - 私は、毎日、落ち着いて時間を取って、すべての親に話すように努力を始めたとき、とても快適に感じた。私はもはや両親を見ることを恐れず、子どもたちをもっとよく知るようにし、両親と話す機会を多く得た。この情報は私のカリキュラムと子供たちと交流する方法を変えた。私はすぐに子供たちとの違いを見ることができた。仕事が好きである！
- 家族とのコミュニケーションが成功すれば、教師はより効果的で自信が持てる。
 - 私は親とのコミュニケーションが必要だと分かっていたが、大人と話すことはとても難しいので、毎日のニュースボードから始めた。私は毎日、その日にしたいいくつかの活動を列挙した。親は来て、活動について私に尋ね、情報のために私に感謝し始めた！彼らとのコミュニケーションを始めるには素晴らしい方法だった。
- 多くの教師は、家族とのコミュニケーションが増すと、子どもたちの信頼が高まるという満足感を体験する。
 - 私がイヴェットのおばあちゃんと話をして以来、私はイヴェットが本当に助けが必要なときに私を探していることに気づいた。私は彼女が私と彼女の祖母の間に成長していると思う絆を高く評価していると思う。
- 両親との関係における課題に直面することは、つながりと信頼を深める助けになる。家族との困難な問題を解決するとき、あなたは恐れが少なくなり、家族との交流がより簡単で楽しいことがわかる。
 - 私はプログラムで親の大半と良好な関係を築いているが、私を避けているか、不足している人がいる。私は困難な両親にアプローチし、コミュニケーションを改善する方法の提案を求めることにした。ほとんどがシンプルで具体的な提案であることに驚いた。質問して以来、「私は知らない」と言った人さえも、より敏感であった。自分のチェックインを楽しみにしている。
- 家族は、アイデア、視点、専門知識、マテリアル、ボランティアエネルギー、コミュニティのつながりを通して、プログラムに重要なリソースを提供することができる。
 - 先日、キャンプのカリキュラムをまとめていた時、親に小さなテントを探していると伝えたら、私たちが使うことができるいくつかのキャンプ用の写真や機器を持って来るよう言ってくれ、カリキュラムを喜んでくれた。さらに親に電話をして、寄付する古い懐中電灯があるかどうか尋ねた。信じられないほどの資源が私たちのプログラムにあることを忘れていた。どういうわけか、いつも自分ですべてをやらなければならないと思う。
- これらの教育者の話から示すように、家族とパートナーシップが出来た時、彼らの仕事はより容易になった。かつて威圧していた相互作用はもはや恐ろしいものではなかった。プログラムや教育のために家族からのより多くの支援を受け、家族や子供たちへのより多くのつながりを感じた。彼らが子供たちと一緒に良い仕事をする方が簡単で、それによって彼らは仕事をもっと楽しめた。これは教師が家族とのパートナーシップを構築するメリットである。
- レッジョ・エミリアの同僚たちは、パートナーシップのメリットについて、彼らの著書である「The Hundred Languages of Children」で次のように述べている

子供の教育経験の質の高まりに伴い、多くの両親が幼児および幼児センターに参加するようになったことは間違いなく子供たちに近づくことができ、親としての自分の能力を豊かにすると確信している。このような背景の中、地元の学校は、対話と協力の前提で建てられた教育コミュニティにスタッフ、両親、子供が日々寄与する自然な場所である出会いと社会交換の特権的な席になる (Edwards, Gandini, Forman 2011,129)。

Reflecting on What You Know about Building Partnerships

パートナーシップの構築について知っていることを振り返る

これらの質問に関する考えを書き留めたり、同僚や他の生徒と話し合ったりしてください。

- ・あなたはすでにどのような方法で家族と提携していますか？
- ・家族とのパートナーシップをさらにどのように構築したいですか？
- ・家族とのパートナーシップ構築に関する質問、心配、または懸念はありますか？

- ・ 子供、教育者、家族はすべて、学校と家庭の強いパートナーシップの恩恵を受けることは明らかである。
- ・ これらの種類の債券を作るために何ができますか？幼児期の初期の人々は、関係構築に熟練していることを忘れるべきではない。あなたは子供たちとうまくやりとりする方法を知っており、お互いの子どもの関係を促進することにも経験がある。大人の関係とは異なり、双方向コミュニケーション、リスニング、観察、育成、指導、学習、共感、他人の視点の学習、ポジティブな限界を設定する、リダイレクトを使用する、選択肢を提供する、ブレインストーミングする、問題の解決策を交渉するなどの、さまざまな側面を備えている。
- ・ これらのスキルを適応させて適用し、子供たちの家族と効果的な関係を構築することができる。



FAMILY-CENTERED CARE: THE KEY TO PARTNERSHIPS

家族中心のケア：提携のカギ



- ・ 家族との関係を築くことの目標は、敬意を表して相互のパートナーシップを構築することである。パートナーシップは、教育者と家族との子どもの関係を充実させ、子どもの利益のために相互の専門知識を結集する。
- ・ 家族中心のケアは、パートナーシップが繁栄できる基盤を提供する。名前が示すように、家族中心のケアでは、家族との関係は、幼児のための良いケアと教育の中心として認められている。
- ・ 家族中心のプログラムの5つの特徴は、他の早期幼児プログラムと異なる。
 1. 家族中心の幼児プログラムでは、教師や家族は、お互いの知識と専門知識を認識し、尊重する
 2. 双方向コミュニケーションを通じて情報を共有する
 3. カと意思決定を共有する
 4. 多様性を認め、尊重する
 5. ネットワークを構築する



Recognizing and Respecting One Another's Knowledge and Expertise

お互いの知識と専門知識を認識し尊重する



- ・ 家族や教師は子供たちを深く心配している。
- ・ 家族は教師とともに、子供の第一、そして永続的な支持者である。教師は、それぞれの子どもができる最高のケアと教育を提供することに専心している。家族や教師は、自分たちのビジョン、希望、知識、そして資源を子供たちやお互いの関係に持っている。家族中心のケアでは、両親と教師が相互に敬意を表し、それぞれの人がパートナーシップにもたらす専門知識、経験、スキル、そして視点を真に評価する。



Sharing Information through Two-Way Communication

双方向通信による情報の共有



- ・ 双方向コミュニケーションは、家族中心のケアの基礎である。これは、関係をパートナーシップに変える重要な要素である。すべてのパートナーシップで、各参加者はリソース、知識、価値をもたらす。家族と教師とのパートナーシップでは、家族は教師が知らない子供のことを知っているが、子どもたちに最良のケアを提供するために教師が学ぶことは不可欠である。教師は、家族が必ずしも持っていない教育や経験を持っており、家族が子どもを理解し指導するのに役立つ。双方向コミュニケーションは、双方の人に不可欠な情報を提供し、アイデアを反映するためのプラットフォームを提供し、相互尊重を伝えることによってパートナーシップをサポートする。



Sharing Power and Decision

共有パワーと意思決定



- ・ 家族と教育者のパートナーシップが効果的に働くためには、チームの両方のメンバーが、家族と教師が子供の教育に

ついて決定を下すのに必要な基本的な役割を理解する必要がある。

- この考え方は、家族がこのように権限を与えられれば、彼らの権威、哲学、またはプログラムを失うことを心配する教師にとっては難しい。一部の教育者は、家族を厳しいものと批判的になり、家族が「あまりにも多くの」力を持っていると感じているが、力や意思決定を共有しても、家族がすべての決定を下すわけではない。
- 代わりに、家族が子どもたちのために最高の教育とケアの決定を下すために、教師やプログラムとの重要なパートナーになるように権限を与えられていることを意味する。
- 家族は必ずしも自然に子どもの初等教師であるとは限らない。子育ては歴史的に目に見えない仕事だったので、親や周囲のコミュニティは、家庭が子どものために行う教育、指導、育成、主張のすべてに日常的に気づいていない。
- さらに、子どもの潜在能力を最大限に引き出すための最新の製品をすべて購入する児童養成研究、専門家の意見、およびそれに続く消費者のプレッシャーは、子供たちの主要な教師、メンター、ガイドとしての役割を果たすことができる。
- 親のエンパワーメント意識はあなたの責任ではないが、子供の生活の中で果たす重要な役割についての親の理解を助けるために、あなたはすばらしい立場にある。両親の挑戦に耳を傾け、努力をサポートし、日常的に能力を認め、子供たちのケアと教育に関する決定を家族に求めることができる。



Acknowledging and Respecting Diversity

ダイバーシティの認知と尊重



- 幼児期のプログラムの子供、家族、スタッフは、多くの異なる文化、民族、家族構造、社会経済学のクラスに属しています。彼らは英語以外の言語を話すことができ、身体能力と性別の識別と役割の多様性を持っています。異なる文化的、社会的起源の家族の学校における存在と関与は、対話と遭遇の機会を提供し、それによって子供に複数の貢献と価値 (Edwards, Gandini, and Forman 2011) の中から成長する可能性を提供する。家族中心のケアでは、各子供と家族は認められ、評価され、含まれます。多様性を認めるには、各児童、家族、教師について学ぶことが必要です。私たちの教育的アプローチの重要性は、抽象的な意味ではなく、他の子ども、教師、親、個人史、および社会のおよび文化的環境に関連する各子に置かれています。関係、コミュニケーション、インタラクションは、私たちの複雑な教育アプローチを支えています (Edwards, Gandini, and Forman 2011)。多様性を尊重することは、自分のものとは異なることや行動する方法を尊重することができ、最初に接触したときに間違っ て感じられる行為でさえも意味します。多様性を尊重し、すべての家族を含めることを学ぶことは、自己反映と自己知識だけでなく他のものについて学ぶことを含む価値ある旅です。この旅は、様々な視点、アイデア、そして生活様式に私たちをさらしています。それは新しい関係と考え方への扉を開きます。家族や教師が誰であるかを知って尊重していると感じると、信頼関係と本物のパートナーシップを作り出すことができます。



Creating Networks of Support

サポートネットワークの作成



ネットワークは、メンバーのそれぞれにヘルプ、情報、およびサポートを提供する人々のグループ内の接続および関係のシステムです。育児環境では、ネットワークには、家族だけでなく、教師、職員、管理者、および周囲のコミュニティも含まれます。ネットワークは、育児環境における資産と接続のプールを広げ、家族に幅広いリソースを提供します。家族が子供の教育に一次的かつ独特の機能を持ち、彼らに対して大きな責任を負っていることは間違いありません。しかし、家族は自分自身に放置することはできません。彼らには、責任と連帯を共有するネットワークが必要です (Edwards, Gandini, and Forman 2011)。現代の家族は、健康な子供を育てるのに多くの課題に直面しています。カウンセリング、就労訓練、紹介、社会サービス、交通、子育て情報、住宅紹介、仲介サービス、休暇介護、危機支援、教育、育児など、さまざまなサービスや情報が必要になる場合があります。ほとんどの教育者は家族に役立つことを望んでいますが、家族のニーズに直面して圧倒されることがあります。時には、みんなが必要とするすべての援助を提供することがあなたの仕事であるかのように感じます。あなたは本当に人々を助けることが好きであり、幼い子供のための指導とケアは人類に本当に役立つ最善の方法の一つなので、おそらく教育職に入ったでしょう。しかし、あなたが子供や家族のすべてのニーズを満たすことが期待されるとき、あなたは不十分と圧倒され始めるかもしれません。興味深いことに、それをすべてやるあなたのドライブは、他人がヘルパーであることに由来する喜びと達成感を経験することを不注意に妨げる可能性があります。育児プログラムの人々にとっては、直接的な助けを提供することができます。また、家族が大規模なネットワークを通じてサポートを提供したり受け入れることができるようにすることもできます。ネットワークモデルを採用することは、一人の人に負担をかけ、誰にとってもリソースになるようにします。さらに、ネットワークモデルは、多くの人々に、他者へのリソースであるという満足感を与えます。

教育者と家族の間の本物の、尊敬される、そして相互のパートナーシップは、幼児のケアと教育、家族が利用できる支援システム、教師の労働条件と仕事の満足度、地域社会の健康を変える可能性を秘めています。この本では、子供、家族、

教師の生活の中で強力な教師 - 家族パートナーシップの重要性を検討します。教師と家族のパートナーシップを構築することの利点と課題の両方を検討します。これらのパートナーシップを構築し、育成するための育児プログラムの各側面を通じ、家族中心のケアの5つの特徴をいかに組み立てるかを探求する。